

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

領収書の人生に豊かな魅力を感じる

鍵山 秀三郎 (イエローハット相談役)

- 「もっと、もっと、もっと」。際限なく求めて欲しがって生きるのは、「請求書の人生」であると知人の有吉説志様から教えていただきました。有吉様は、幼い頃お祖母さんから、寺社にお参りした時は「ありがとうございます」と請求書ではなしに領収書のお参りをしなさい、と教えられたそうです。向上心や探求心は人の成長に欠かせない大切な条件ではありますが、度の過ぎた欲求は人を卑しくし、ひいては国家の尊厳を傷つけることにもつながります。
- 日本には領収書の生き方をしている方が大勢おられますが、そういう方は世間から注目されることはありません。請求書の生き方をする人が派手で目立つのに比べて、領収書の生き方をする人は地味で人目につかないところが共通しているからです。誰からも注目されず、光の当たらないところで、いつ報われるか分からないことに心を込めて取り組んでおられるそのお姿からは、卑しさは微塵も感じられません。
- 他人に頼ったり、求めたりすることなく、人の役に立つことだけを念頭において、一途に歩み続けるお姿は、人を引きつける豊かな魅力を備えています。
(参考:「致知」2007年12月号)

経営者のための経済学

富裕層が住む赤字自治体

- 国から地方への税源委譲で、地方交付税の配分先に異変が生じている。全国約 1800 自治体のうち、2007 年度は国からの支援なしで財政が成り立つ不交付団体が 188 と前年より 17 増え、全体の 1 割を超えた。新たに不交付団体となった自治体はいずれも景気回復などで企業からの税収が伸びているところが多い。これに対し、交付団体に転落したのは兵庫県芦屋市、神奈川県葉山町など 5 市町村だ。富裕層が多く住み、個人住民税の税収が豊かだった自治体。
- ところが、三位一体改革で市町村民税の税率が 6% に一本化された結果、高額所得者の税率が下がり、大幅な税収減となった。住民には企業経営者が多いにも関わらず、税収が減るといふ皮肉な事態だ。企業経営者が住んでいるか、企業が立地しているかで明暗を分けた形だが、高級住宅街だけに企業誘致をするわけにもいかない。
(参考:「WEDGE」:2007年11月号)

ワンポイント経営アドバイス

叱りそしてフォローする

- 叱るという行動は、人を諭し、正しい方向に導く行為であり、怒ることとは大きく異なる。経営者は大いに社員を叱るべきだ。しかし社員を叱ることをつい躊躇してしまう経営者も少なくない。確かに、昔に比べ、今が叱りにくい時代になったことは間違いない。世の中全体がぜいたくになり、叱られ慣れていない人が増えた。現実には、「少し叱っただけで、わずか入社 3 ヶ月で退社してしまった」という話は多い。
- 叱るという行為は、相手に強い気づきを与え、一気に目的地に運ぶためのショック療法だ。優しく諭すのは、会社にとっても社員にとっても遠回りの選択になる。大企業ならともかく、人材の即戦力化が常に課題の中小企業にとって、社員は叱って鍛えるのがあくまで王道だ。ただし、叱り続けているだけでは、社員は成長しない。フォローしてやることが大事だ。部下は叱られ、フォローされて初めて、成長を始めるのだ。
(参考:「日経ベンチャー」2007年11月号)

古典に学ぶ

野心を捨て去る

「心に勢利を忘れて而る後に権貴と与に語るべし」

(訳) 心から権利、名利などの野心を忘れ去って始めて権力者と対等に話ができるのである。

(参考:佐藤一斎「言志四録」): PHP 文庫